

1、単元名・教材名

単元名：第4章 近世の日本 2節 江戸幕府の成立と対外政策

教科書：『新しい社会 歴史』東京書籍

2、研究主題との関連

(1)教材観

学習本単元は、学習指導要領【歴史的分野】「B 近世までの日本とアジア」の(3)近世の日本イ「江戸幕府の成立と対外関係」について扱うものである。

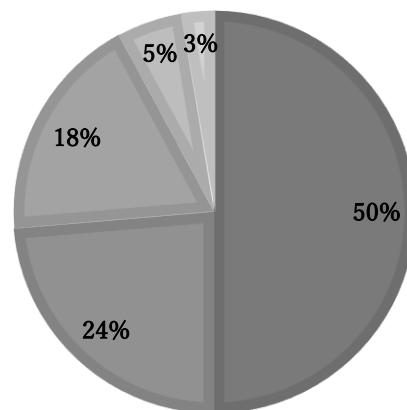
指導要領には「江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解すること」と示されていることから、江戸幕府の将軍3代目までに築いた、「260年続いた江戸幕府のシステム」を理解し、それらが江戸時代の人々に対し、どのような政治的及び社会的な影響があったのかを把握させ、それぞれの政策の意図を考えさせることを通して、歴史に関わる事象の意味や意義を、時期や年代、推移、比較、相互の関連などに着目して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うことをねらいとする。

(2)生徒観

本学級 在籍している。アンケート結果を踏まえ、社会科に関して苦手意識を持っている生徒は少ないと考える。課題には真摯に取り組む、学習に対して前向きである。また、授業中は問いかけに対して積極的に発言し、挙手も多い。加えて集中して課題に取り組む力があり、板書以外の情報をノートやプリントにメモするなど、積極的に授業に参加する。教科書に書いていないようなことを考察し、自分の考えとしてまとめることに苦手意識がある。

社会科の授業は好きですか？

■好き ■どちらかと言えば好き ■普通 ■どちらかと言えば苦手 ■苦手



(3)指導観

生徒は社会科に苦手意識がないため、小学校までの学習で、徳川家康が関ヶ原の戦いに勝ち、江戸時代を築き上げ、その後鎖国をするといったある程度流れを把握しているからこそ、江戸時代の社会的・政治的出来事を単純な単語を暗記し、それぞれの意図や有効性については一辺倒な考えに固まりやすい。将軍3人目までの政策にはよい面も悪い面もあり、それぞれ政策を出した側には思惑がある事を示唆することで、多面的・多角的に江戸時代の政策や社会システムを考えてもらえるような学習課題、学習目標の提示を心がけることを通して、この江戸幕府成立までの一連の流れに対して多面的・多角的に考察し、複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論できるようにしたい。

3、単元目標

○江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩により支配が確立したことを理解させる。【知識・技能】

○近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。【思考・判断・表現】

○近世の日本について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身につけさせる。【主体的に学習に取り組む態度】

4、単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	○江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩により支配が確立されたことを理解している。	○近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	○世の日本について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

5、単元の指導計画（計 4 時間）

時	主な学習内容	学習課題・目標	●: 評定に用いる評価 ○: 学習改善につなげる評価
1	【江戸幕府の成立と支配の仕組み】 江戸幕府の成立 幕藩体制の確立 大名・朝廷の統制	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 課題 江戸幕府はどのように全国を支配したのでしょうか。 </div> <p>●江戸時代の政治制度のあらましを理解し、幕府による大名や朝廷の統制の仕方を「武家諸法度」「禁中並びに公家諸法度」「大名配置」などの資料から理解し、それぞれにどのような効果があったのかを理解する。</p>	<p>●大名・朝廷の支配の仕組みを理解している。【知識・技能】</p> <p>○大名・朝廷の支配の政策が、大名や朝廷にとってどのような効果があったのかを表現している。【思考・判断・表現】</p>
2	【さまざまな身分と暮らし】 武士と町人 村と百姓 差別された人々	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 課題 江戸幕府はどのように人々を支配したのでしょうか。 </div> <p>●江戸時代の身分制度について理解し、それぞれの生活の様子を理解する。</p> <p>●差別された身分の人がいたことについて理解し、今後どのような問題に発展するのかを理解する。</p>	<p>●武士・町人・百姓の身分の人たちがそれぞれどのような生活をしていたのかを理解している。【知識・技能】</p> <p>○「都市と農民の支配の仕組み」から、江戸時代の村や町での自治の様子を、幕府の支配の意図を交えて表現している。【思考・判断・表現】</p>
3 本 時	【貿易の振興から鎖国へ】 積極的な貿易政策 禁教と貿易統制の強化 島原・天草一揆と鎖国	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 課題 江戸幕府はなぜ、鎖国をするようになったのか。 </div> <p>●江戸幕府の対外政策の変化を捉え、貿易の振興から鎖国までの流れを考察し、表現する。</p> <p>●島原・天草一揆の鎮圧をはじめとする、キリスト教に対する幕府の対策と、その影響について理解する。</p>	<p>●鎖国までの流れや理由を、宗教・貿易・大名それぞれの統制などから考察し、表現している。【思考・判断・表現】</p> <p>○キリスト教徒や宣教師に対して幕府が行った政策が人々にどのような影響を与えたのか理解している。【知識・技能】</p>
4	【鎖国下の対外政策】 【琉球王国とアイヌ民族との関係】 四つの窓 オランダ・中国との貿易 朝鮮との交際 琉球の支配 アイヌ民族との交易	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 課題 鎖国下での世界や地域とのつながりはどのようなものだったか。 </div> <p>●長崎・対馬・松前・薩摩で、それぞれの国や地域とどのようなかかわり方をしていたのかを理解する。</p>	<p>○オランダ・中国と朝鮮では、貿易のやり方が違うことや、江戸幕府との関係が異なる点があることを理解している。【知識・技能】</p> <p>●琉球と薩摩、松前とアイヌなど、藩や国とのやり取りの中でそれぞれの交易の様子について理解し、表現出来ている。【思考・判断・表現】</p>

6、本時の学習指導(3/4)

(1) 目標

・江戸幕府の対外政策の変化を読み取る。

(2) 展開

時間	学習活動	学習内容	指導上の留意点 ◆:評価基準 ◇:十分満足できる状況 △:おおむね満足できる状況
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の授業の復習をする。 ・今日の授業のあらましを話し、今日の目標を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の授業で幕府の大名や人々の支配の仕方について学んだことを気づいた生徒たちから言っていく形で共有する。 ・江戸時代の政策のイメージとして「鎖国」があるが、そうなった流れを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいを提示することで、学習の見通しをもたせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 課題:江戸幕府はなぜ、鎖国をするようになったのか。 </div>			
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを配り、教科書で、キーワードを確認する。(個人) ・プリントに記載してあるものを黒板にまとめ、家康～家光までの対外政策の流れを詳しく確認する。(全体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を見ながらプリントにて、重要ワードをまとめる。 ・ノートもしくはプリントに、情報を書き足しながら、キリスト教の禁教と貿易の制限の関連をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進み具合を確認し、机間巡視の中で取り組みが遅い生徒へ教科書の記載箇所などを示す。 ◆江戸幕府の鎖国までの流れを理解している。【知識・技能】
まとめ 15分	<ul style="list-style-type: none"> ・鎖国の理由を考える。(個人→班→全体) 	<ul style="list-style-type: none"> ●国を閉ざし、宗教を制限したことをもう一度確認してから課題に入る。 ●プリントにて、鎖国にどんなメリットがあったのか、を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆鎖国の理由やメリットを説明できる。【思考・判断・表現】 ◇鎖国になった経緯を、貿易と宗教の両側面から考えられることをふまえて書いている。 △鎖国になった経緯を、貿易と宗教の一方の面から考えられることを書いている。




(3)配布プリント

No,10 貿易の振興から鎖国へ(教科書p118~119)

学習課題:江戸幕府はなぜ鎖国するようになったのか。

●キーワードを整理しよう

<貿易の変化と基督教の扱い>

人物	貿易	基督教
家康 	・東アジアへの渡航を許可する ① _____ を発行 →② _____ 貿易 →近隣の国に ③ _____ ができる。	黙認 1612年 幕領で禁止 1613年 全国で禁止
秀忠 		宣教師や信者を④ _____
家光 	⑤ _____ 貿易の終了 長崎に⑥ _____ を築く →日本人との交流を制限	

<基督教徒の弾圧>

・⑦ _____ を大将にした、⑧ _____ を鎮圧

・基督教徒を発見するために⑨ _____ を行う

・仏教徒である事を寺に証明させる→⑩ _____

●鎖国の理由を考えよう

鎖国にはどんなメリットがあったか考えてみよう

(4)板書案

5/23 貿易の振興から鎖国へ			
目標:江戸幕府の対外政策の変化を読み取ろう			
	<貿易>	<キリスト教>	<キリスト教徒の弾圧>
家康	①朱印状を発行 →②朱印船貿易 各地に③日本町 ができる	・1612年幕領 で禁止 ・1613年全国 で禁止	⑦天草四郎を対象にした ⑧島原・天草一揆を鎮圧 ⑨絵踏を行う
秀忠		④処刑 →禁教令	仏教徒である事を 証明させる⑩宗門改
家光	⑤朱印船貿易の終了 →長崎に⑥出島 を築く	鎖国	①鎖国のメリットは?

※下線部は生徒に板書してもらおう

(5)補足資料・画面投影

